令和７年度第１回　甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 議事録

■日 時 令和７年７月２５日（金）午後２時００分から

■場 所 甲府市役所本庁舎６階 大会議室

■出席委員　１０名

■欠席委員　８名

■事務局

福祉部長、福祉支援室長、保健衛生総室長、長寿介護課長、地域包括支援課長、健康政策課長、地域保健課長、外一般職員

■次 第

１　開会

２　福祉部長挨拶

３　委員紹介

４　会長の選出（職務代理指名）

５　会長挨拶

６　議事

（１）「高齢者いきいき甲府プラン（R6～R8）」の令和６年度事業実施状況について

（２）介護サービスの整備状況等について

（３）次期高齢者いきいき甲府プラン策定に関するアンケート調査について

（４）その他

7　閉会

■議事審議内容

（1）「高齢者いきいき甲府プラン（R6～R8）」の令和６年度事業実施状況について

【委員】

資料１ p.5「第２層協議体」について、甲府市全体では 31 連合自治会があるが、そのうち大体 14 連合自治会が第 2 層の協議会協議体として取り組みを始めている。穴切地区でも団体のネットワーク会議を立ち上げて取り組みを始めているが、取り組む内容がよく分からない。第 1 層の協議体が甲府市であるため、甲府市の方へ何か課題をあげられればいいのだが、連合自治会単位の課題をどうあげていけばいいのかが分からない。成熟度が全体的に足りないのかもしれないが、これについて市の見解を伺う。

【事務局】

本市の地域課題としては担い手の確保を含めた通いの場、それから移動支援、買い物支援を設定している。昨年度は甲府市全体を対象とした第 1 層協議体で他市町村の第 2 層協議体の取り組み、例えば東京都のスマホを楽しむ会の通いの場への取り組みや長崎県の移動支援の好事例を情報提供した。そのような情報を地域に広げながら進めていただきたい。

【委員】

資料１ p.9 「成年後見制度利用支援助成」について、インプット指標の成年後見制度の申立に要する報酬の助成件数があるが、これが未達成である。制度的に報酬を助成するのは誰に対して、どういう助成を、どのくらいの金額で

助成しているのか。
【事務局】
　成年後見制度利用支援助成については、対象は甲府市民となるが、生活保護を受給されている方や報酬の支援がなければ成年後見制度の利用が困難な方について、ご本人の収入や支出状況を確認し、困難であれば報酬の助成を行う。報酬の金額については、在宅の場合は月額2万8000円、施設入所の場合は月額1万8000円が上限で、その必要な月数を掛けた金額が上限額となる。

【委員】
　新しい委員もいるので、アウトカム指標、インプット指標、アウトプット指標の説明を改めてお願いしたい。
【事務局】
　アウトカム指標は施策事業の実施により発生する効果、成果を表す指標です。これは令和8年度に達成を目標としている指標である。インプット指標は施策事業の実施に必要な金額や人の量を示す指標で、アウトプット指標は施策事業を実施して直接発生した成果物や事業量を表す指標である。

【委員】
　全体的に見て、健康アプリの通知数や継続参加率など、実施回数はよく出ている。しかし回数は達成できたけど、実際何人が参加しているか、周知した回数や実施回数は見えても実態が見えにくい。回数のところは、回数も問題であるが、基本的には一回にどのくらい出席したかということも重要になってくるのではないか。
【事務局】
　確かに回数と言っているが、実際に何に使っているのか、人口に対して何人ぐらい使っているのかが見える方がわかりやすいし理解しやすいと思う。令和6年度については、現在、すべての数字をお知らせするのは難しいが、今後、表や見せ方について検討を行っていく。

【委員】
　甲府市の地域密着型特養の待機者は現在どれくらいいるのか。
【事務局】
　集計中ですが、地域密着型特養の待機者については、要介護3以上の方で、直近7月で約775名である。この中には複数の施設に申し込みをされている方も重複してカウントしている。
【委員】
　1、2年前の市の待機者の資料では、確か1500人前後はいたと思うが、現在は800人前後という数字なので、待機者が半減したという理解でよろしいか。
【事務局】
　数年前の1500程度の待機者は、県全体の広域型特養も含めた待機者数ではないかと思う。昨年度からの数字を見ると、密着型特養29人以下のものは700前後の待機者となっている。
【委員】
　把握の仕方で重複している方もいるとのことなので、精査していない数字が一人歩きしないようにしたほうがいいと思う。
（別の委員より）
　老人福祉施設協議会の役員で、自分の施設で特養もやっているが、現場からの考えとして、高齢者の調査には限界がありやむを得ないこともあるが、重複していることや、事業所で精査せずに市に報告している事例もある。県内の

施設長に話を聞くと、待機者どころか空きがあって困っているところも結構あるため、700 という数字は実態とは離れている部分があると感じている。3 年前、コロナの終わり頃に 400 人の待機があり、精査したところ、重複も含めて実態は半分以下になった。つまり、一人の高齢者が 3 か所、4 か所の特養に申し込みしていることが分かった。また、申し込み後に亡くなっていたり、病院に行ったりしている場合もあり、申し込み自体が意味をなさない数字が報告されていることもある。エリアによっては空床が続いている特養もあるため、実態調査にはそれなりの手間が必要だと思う。

【事務局】

特養待機者の実態調査は定期的に行っているので、今回の委員の意見を参考に実態調査の精度を上げていければと思う。

【委員】

民生委員で活動する中で、最後に自分の家で過ごしたいという意見が多いが、現状、訪問介護の希望者に対応できているか。数字的にも把握しているか。

【事務局】

訪問介護事業者から聞くと、多少利用の調整はあるものの、全く使えないということは聞いていない。利用までに数日から数週間の調整が必要な場合もあるが、現状としては使えていると認識している。

【委員】

甲府市全体を歩いているわけではないので詳しくは分からないが、対応が十分でないという話は聞いている。詳しく調べていただきたい。

【事務局】

情報収集してしっかりと把握していきたいと思う。

【委員】

笑顔ふれあい介護サポーターの研修会をもう少し増やしてもらいたい。

【事務局】

笑顔ふれあい介護サポーターはボランティア活動になるため、研修会等は行わずに、登録という形となる。

研修ということだと、すこやか地域サポーターかと思うが、こちらは福祉センターで養成講座を行っており、参加の状況等を踏まえながら開催回数については検討していく。

【委員】

今、シニアの方たちがコロナでやる気をなくしているので、ぜひ講習会等を活発にし、シニアを活気づけるような活動をお願いしたいと思う。

（3）次期高齢者いきいき甲府プラン策定に関するアンケート調査について

【委員】

資料３ p.２「４　高齢者いきいき甲府プランに関するアンケート調査」について、主な調査項目がいくつか挙げられているが、今後、分科会等で調査項目について意見を交換する機会はあるのか。

【事務局】

分科会等で事前に調査項目を検討することはないが、今後、調査項目に関する意見があれば、事務局にご連絡いただき、いただいた意見を参考にしながら調査を進めていく。

【委員】

高齢者の権利擁護の部分で、高齢者虐待に関する見守りや体制の強化という項目あるが、虐待に関する広報活動や回数の評価だけでは早期発見に直結するとは限らないと考えている。虐待に限らず、市民の権利、認知症や虐待も含めたあらゆる権利を擁護していくために、少しでも市民に虐待をはじめとした権利擁護についての普及啓発の中で、成年後見制度についての質問だけでなく、虐待や権利擁護についての意識の項目を含め、普及がさらに広まっていくと、安心できる地域づくりにつながっていくのではないかと考えている。社会福祉士としても、権利擁護全体への理解促進が地域の安心につながると考えており、調査項目に虐待や認知症を含めた権利擁護全般に関する意識や実態を把握できる設問があるとよいのではないか。

【事務局】

委員の意見を参考に、今後、調査項目を検討していく。

【委員】

資料３ p.１「１　在宅介護実態調査」について、介護している人が回答するのか、調査員が調査するのかといった形態について伺う。

また、ペーパーの調査では大変な状況で介護をしている方などの実態を本当に把握できるのか。

【事務局】

在宅介護実態調査については、調査票を送付し、回答を記載いただき返送いただくという形態となる。

また、実態の把握については、資料３の２に記載の在宅生活改善調査等でケアマネージャーや介護事業所の視点からみた調査項目があるので、調査を組み合わせて実態の把握に努めていく。

（４）その他の事項について

【委員】

甲府市の自治会の問題について、加入者数の減少や高齢化など、いくつも課題を抱えており、自治会の存続自体が危ぶまれてきている地域が増えてきているが、そこに対する支援策について、現時点での考えや検討予定などを伺う。

【事務局】

福祉部の所管しているところではシニアクラブなど、様々な地域で今まで地域住民で成り立ってきた団体や集いの場が、高齢化や核家族化を踏まえる中で成り立たなくなりつつあることは把握している。市としてもそういった実態を把握しながら、今後、福祉部だけでなく自治会連合会を所管している市民部なども含めて全体的に協議し、施策を打ち出していかなければならないと考えている。

【委員】

高齢者の買い物や病院等への移動手段の問題について、甲府デマンドタクシーを始めていると思うが、利用状況を教えていただきたい。

【事務局】

デマンドタクシーについては企画部の所管のため、利用状況については現在把握していないが、データを企画部より提供してもらう中で、部局横断的に高齢者の移動手段についての施策を推進していく。

【事務局】

甲府市あんしん終活サポートについての紹介（別紙参照）